

令和元年度事業報告

【総括編】

〔主な事業実績〕

事業名等	令和元年度(A)	平成30年度(B)	増減(A)-(B)	摘要
不法投棄防止活動				
県等主催街頭キャンペーン等 参加者数	204名	147名	57名	7支部全てで実施(P5～P6)
不法投棄撤去作業 参加者数 不法投棄撤去作業 箇所数	348名 10箇所	270名 9箇所	78名 1箇所	7支部で実施(P6)
災害対策支援事業				
情報伝達訓練 参加会員数 調査票回収率	308社 82.1%	326社 82.2%	△18社 △0.1%	(P7)
公益目的事業				
ぼくらはさんばい探偵団 参加者数	111組 288名	132組 318名	△30名	7支部、8コースで実施(P8)
施設見学会大学生等 参加者数	42名	49名	△7名	静岡県立大学、東海大学(P8)
環境イベント等啓発活動 参加者数	51名 48社	71名 15社	△20名 33社	6支部で実施(P9)
講習会等				
各種講習会等	13回 533名	19回 939名	△6回 △406名	環境管理講座の実施等(P10～P11)
業許可等講習会	12回 1,626名	12回 1,589名	37名	(P14)
マニフェスト頒布枚数	309,800枚	287,900枚	21,900枚	(P13)
会員相互の扶助事業				
各支部の勉強会等	3回 712名	7回 918名	△4回 △206名	7支部(P15)
各支部主催の視察研修会 参加者数	101名	98名	3名	7支部全てで実施(P16)
本部主催の視察研修会 参加者数	61名	94名	△33名	(P16)
表彰件数	18件	23件	△5件	知事褒賞、会長表彰、全産連会長表彰(P17)
会員数	1,030	1,049	△19	(P22)

〔主な事業〕

≪公益目的事業≫

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄撲滅活動

①統一パトロールや街頭キャンペーンへの参加協力 (P5～P6)

6月の環境月間や12月の不法投棄撲滅強化月間を中心に、静岡県等が実施する不法投棄防止統一パトロール・海洋プラスチックゴミ防止6R県民運動周知キャンペーン及び不法投棄撲滅街頭キャンペーンに支部毎に取り組み、役員等計204名が参加、協力した。

②不法投棄廃棄物の撤去作業等の実施 (P6～P7)

不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部が県健康福祉センターや最寄りの市などの協力を得ながら役員や会員等計348名の参加により、県内10か所の不法投棄廃棄物の撤去作業等に取り組んだ。

また、今年度も、富士支部が県の富士山麓不法投棄廃棄物撤去事業に協力し、テレビで報道された。

(2) 災害対策支援事業の実施 (P7)

令和元年10月に県からの台風19号に対する事前準備要請を受けて、支部ごとの災害廃棄物処理協力体制を整備し、その情報を各市町に提供した。

令和2年1月17日から1月24日にかけて、協力会員308社を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。

また、大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会や静岡県主催の災害廃棄物処理に関する会議等に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

2 適正処理啓発事業

(1) 小学生の親子を対象とした環境学習「ぼくらはさんばい探偵団」の実施 (P8)

平成5年度から27年間継続実施している、「ぼくらはさんばい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」は、7支部8コースで実施し、小学生の親子等計111組288名が参加した。

(2) 大学生を対象とした処理施設視察会等の実施 (P8)

「ぼくらはさんばい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生を対象に実施し、学生等42名が参加した。静岡県立大学ではこの視察会がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

(3) 環境イベント等への参加による啓発活動 (P9)

各支部の役員や会員が最寄りの市等が実施する環境イベント等に参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

3 能力開発支援事業

(1) 全国的な会議等への参加による情報収集 (P9~10)

(公社)全国産業資源循環連合会や中部地域協議会等が実施する全国的な各種会議等(計19回)に役員等が積極的に参加し、意見交換や情報収集に努めた。

(2) タイムリーな情報提供、相談への随時対応 (P10)

機関誌「しずおかの産廃」やホームページなどにより、タイムリーな情報提供に努めるとともに、許可手続、適正処理、リサイクルなどの相談にも随時対応した。

(3) 各種講習会・研修会の開催

①実務向上研修会等の開催 (P10~P11)

静岡県の海洋プラスチックごみ対策等の周知を図るための「環境管理講座」、労働災害防止を図るための「安全衛生講習会」、「電子マニフェスト操作体験セミナー」、「優良認定制度普及研修会」等を静岡市や浜松市等で12回開催し、計439名の参加があった。

②暴力追放推進に関する講習会の開催 (P11)

令和元年12月に産業廃棄物処理業務からの暴力団の排除や企業対象暴力への対策を目的とした「不当要求防止責任者講習会」を静岡市内で開催し、94名の参加があった。

(4) 専門部会等の活動 (P11~P13)

医療廃棄物、建設廃棄物、食品廃棄物、中間処理、青年の各専門部会は、幹事会や講習会の開催、先進事例の視察、(公社)全国産業資源循環連合会の専門委員会等への参加などを通じて活発に活動した。

(5) 「しずおかの産廃」発行等事業 (P13)

協会機関誌「しずおかの産廃」及び「産廃技術ニュース」を年4回発行し、各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業 (P13)

産業廃棄物に係る分野での新しい人材を確保するため、県内4校の特別支援学校生徒を対象に環境出前講座を実施した。

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業 (P13)

産業廃棄物処理の適正処理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を309,800枚頒布した。

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業 (P14)

(公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業許可講習会等を12回開催し、1,626名の参加があった。

《会員相互の扶助事業》

1 支部運営事業

(1) 各支部主催の勉強会等の開催 (P15)

各支部において勉強会や講演会等を3回開催し、712名の参加があった。

(2) 各支部主催の視察研修会 (P16)

令和元年の秋から令和2年の春にかけて各支部毎に会員等計101名が参加し県内外の優良施設等を対象に視察研修を行った。

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業 (P16)

幅広く環境情報等を収集するため、7月に会員等61名が参加し、東京ビッグサイトで開催された「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2019」を対象に視察研修を行った。

(2) 暴力追放推進事業 (P16)

暴力追放推進協議会第20回大会を開催し、暴力追放宣言の斉唱などを行った。

(3) 労働安全衛生事業 (P16~P17)

労働安全水準のなお一層の向上を図るため、第2次労働災害防止計画の策定を進めた。

(4) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞 (P17)

令和元年6月11日の定時総会に先立ち平成30年度知事褒賞授与式が行われ、会員1名が受賞した。

②(公社)静岡県産業廃棄物協会会長表彰 (P17)

令和元年6月11日の定時総会に先立ち平成30年度会長表彰が行われ、功労者表彰4名、優良従事者表彰6名、優良事業所表彰1社が受賞した。

③(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰 (P18)

令和元年6月13日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会の定時総会での表彰式において、令和元年度同連合会会長表彰が行われ、当協会関係では、功労者表彰1名、地方功労者表彰1名、地方優良事業所表彰2社、優良従事者表彰2名が受賞された。

(5) 人材確保育成事業 (P18)

令和元年9月に産業廃棄物処理業務を担う人材の育成と定着を目的とした新任担当者向けの「産業廃棄物処理基礎講座」を開催し、49名の参加があった。

【詳細編】

I 公益目的事業

1 適正処理推進事業

(1) 不法投棄防止活動事業

- ① 支部役員等が6月の環境月間及び全国ごみ不法投棄監視ウィーク(5月30日から6月5日)や海ごみゼロウィーク(5月30日～6月8日)に静岡県等の実施する統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和元年5月30日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員2名
	東部 "	沼津市、裾野市、御殿場市、三島市	東部支部役員12名
	中部 "	焼津市、藤枝市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員24名
	西部 "	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員4名
浜松市		浜松市	西部支部役員等10名
計			52名

ii) 海洋プラスチックごみ防止6R県民運動周知キャンペーン

実施日：令和元年6月3日

実施機関		場 所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	JR静岡駅	中部支部役員等10名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員3名
	東部 "	JR沼津駅	東部支部・富士支部役員等14名
	中部 "	JR焼津駅	志太榛原支部役員等14名
	西部 "	JR磐田駅	中遠支部役員等11名
計			52名

- ② 支部役員等が不法投棄撲滅強化月間(12月)に静岡県の実施する不法投棄防止統一パトロールや街頭キャンペーンに参加、協力した。

i) 不法投棄防止統一パトロール

実施日：令和元年12月2日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	賀茂健康福祉センター	下田市	伊豆支部役員3名
	東部 〃	沼津市、裾野市、伊豆市、御殿場市	東部支部役員10名
	中部 〃	焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町	志太榛原支部役員24名
	西部 〃	磐田市、袋井市、掛川市	中遠支部役員3名
計			40名

ii) 不法投棄撲滅街頭キャンペーン

実施日：令和元年12月6日

実施機関		場所	協会参加者
静岡県	廃棄物リサイクル課	JR静岡駅	中部支部役員等13名
	賀茂健康福祉センター	とうきゅうストア下田店	伊豆支部役員3名
	東部 〃	JR三島駅	東部支部・富士支部役員等11名
	中部 〃	JR藤枝駅	志太榛原支部役員等16名
	西部 〃	JR磐田駅	中遠支部役員等6名
浜松市		ザ・ゲートハママツ	西部支部役員等11名
計			60名

- ③ 不法投棄の抑止や地域環境の保全のため、各支部において最寄りの行政機関等の協力を得て不法投棄廃棄物の撤去・処分作業等を実施した。

支部名	実施日	実施機関	場所	実績	参加者
伊豆	令和2年 3月18日	伊豆支部 静岡県	伊東市 富戸	コンクリートがら 25 m ³	伊豆支部役員、県職員、 伊東市職員等10名
東部	1月22日	東部支部 伊豆市	伊豆市 冷川・柳瀬	がれき類、廃タイヤ 17.45 t	東部支部役員、県職員、 伊豆市職員等18名
富士	令和元年 10月4日	富士支部 静岡県	富士宮市 山宮	建設系混合廃棄物 16.1 t	富士支部役員、県職員、 富士宮市職員等22名
中部	平成31年 4月19日	中部支部 静岡市	静岡市 清水区	スレート瓦等 1,900 kg	中部支部役員、 静岡市職員等30名

	令和元年 5月30日	中部支部 静岡市	静岡市 駿河区	一般廃棄物等 390 kg	中部支部役員、 静岡市職員等 25 名
	12月5日	中部支部 静岡市	静岡市 葵区	廃タイヤ等 1,730 kg	中部支部役員、 静岡市職員等 20 名
志太榛原	5月10日	志太榛原支部 静岡県	焼津市 田尻北	プレジャーボート 2 艘	志太榛原支部会員、 静岡県職員等 39 名
	11月2日	志太榛原支部	島田市 稲荷町	一般廃棄物 1.5 m ³	志太榛原支部会員、 支部会員家族等 38 名
中遠	令和2年 2月18日	中遠支部 菊川市	菊川市 西方・高橋	生活ごみ、建設系廃棄物 950kg	中遠支部会員、菊川市 職員、自治会等 52 名
西部	2月21日	西部支部 湖西市	湖西市 白須賀・ 大知波	生活ごみ、建設系廃棄物等 4,720 kg 廃家電 20 台	西部支部会員、湖西市 職員、自治会等 94 名
計					348 名

- ④ 令和元年5月8日に岐阜県岐阜市において中部四県「産業廃棄物不法処理防止連絡協議会」合同会議が開催され、国、中部四県(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)及び中部四県の政令市並びに中部四県協会等が参加し、産業廃棄物不法処理防止について情報交換等を行った。

(2) 災害対策支援事業

- ① 令和元年10月に県からの台風19号に対する事前準備要請を受けて、支部ごとの災害廃棄物処理協力体制を整備し、その情報を各市町に提供した。
 なお、台風19号による被災では、伊豆の国市からの要請を受けて、東部支部の災害廃棄物処理協力会員1社が仮置場の運営に協力した。
- ② 令和2年1月17日から24日にかけて災害廃棄物処理等の協力会員308会員を対象に災害廃棄物処理情報伝達訓練を実施した。
- ③ 令和2年2月7日に静岡市内で開催された「災害時応援協定締結事業者研修会(主催:静岡県)」に事務局員が出席し、情報交換等を行った。
- ④ 令和元年8月26日に三重県津市で開催された「大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会」に専務理事が出席した。
- ⑤ 令和元年10月23日に愛知県名古屋市で開催された中部地域協議会「災害廃棄物支援協定担当者会議」に専務理事及び事務局が出席し、情報交換等を行った。

2 適正処理啓発事業

(1) ぼくらはさんぱい探偵団事業

- ① 身近な環境学習の場の提供として、令和元年7月30日から8月8日にかけて、「ぼくらはさんぱい探偵団(夏休み産業廃棄物処理施設親子見学会)」を7支部で実施(中部支部は静岡地区、清水地区に分けて実施)し、小学生の親子等111組288名が参加した。

支部名	開催日	見 学 先	参加者数
伊豆	令和元年 8月8日	・(株)駿河サービス工業 ・(株)ヤクルト本社富士裾野工場	12組 27名
東部	7月30日	・アサヒ飲料(株)富士山工場 ・(株)ミダック富士宮事業所	13組 33名
富士	8月2日	・(株)ヤクルト本社富士裾野工場 ・(株)アサギリ	18組 49名
中部 (清水地区)	7月30日	・ヤマハ(株)掛川工場 ・(株)リサイクルクリーン 袋井工場	12組 34名
中部 (静岡地区)	8月2日	・(株)伊藤園静岡相良工場 ・(株)チューサイアース プロテクションセンター	14組 36名
志太榛原	8月1日	・ヤマハ(株)豊岡工場 ・(株)富士エコサイクル	10組 29名
中遠	7月30日	・(株)富士エコサイクル ・ハウス食品(株)静岡工場	13組 34名
西部	8月5日	・本田技研工業(株)トランスミッション製造部 ・(株)富士エコサイクル	19組 46名
計			111組 288名

- ② 参加した小学生の親子から感想文を募集して、文集CD「ぼくらはさんぱい探偵団」として取りまとめ、感想文提出者をはじめ、視察先及び関係機関等に配布した。

(2) 産業廃棄物処理施設視察会事業

「ぼくらはさんぱい探偵団」の大学生版として、静岡県立大学と東海大学の学生等を対象に産業廃棄物処理施設等視察会を実施した。

静岡県立大学では、本事業がカリキュラムに組み込まれ、単位取得も可能になっている。

実施日	視 察 先	参 加 者
令和元年 11月28日	・(株)いちまる食品事業本部 ・静岡油化工業(株)	静岡県立大学大学院食品栄養科学部 環境生命科学科生及び教員 25名
令和2年 2月6日	・(株)エコネコル ・(株)ミダック富士宮事業所 ・丸徳商事(有)	東海大学海洋学部 環境社会学科生及び教員 17名
計		42名

(3) 展示会等出展事業

各支部において最寄りの市等が実施する環境イベント等に出展・参加し、不法投棄の防止や3Rの推進などの啓発活動を行った。

支部名	実施日	イベント・内容	参加者
伊豆	令和元年 11月4日	「ごみフェスティバル in 伊東」 ・不法投棄防止呼び掛け、ティッシュの配布等	役員等 4名
東部	令和2年 2月9日	「2020ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」 ・支部会員からの提供品によるバザー ・3Rの呼びかけ	役員等 13名
富士	令和元年 11月30日	「第13回富士市環境フェア」 ・環境クイズ等の実施	役員等 10名
中部	10月19日 ～20日	「第17回静岡市ごみリサイクル展」 ・廃食用油を使ったエコキャンドル作りの体験	役員等 14名
志太榛原	11月17日	「SBS わんぱくフェスタ」 ・リサイクルクイズの実施	役員等 10名
西部	令和元年 8月～9月	浜松市西部清掃工場において、会員企業の環境等報告書を展示	会員 24社
	12月8日	「もったいない環境セミナー」 ・会員企業の環境等報告書を展示	会員 24社
計			51名 48社

3 能力開発支援事業

(1) 各種会議等への参加による情報収集

【(公社)全国産業資源循環連合会関係】

開催日	開催場所	会議名	出席者(協会)
平成31年 4月9日	静岡県	中部地域協議会第1回専務理事会	専務理事
令和元年 5月28日	東京都	第44回理事会	副会長
6月13日	東京都	第9回定時総会	会長、副会長、専務理事、理事
7月9日	東京都	第45回理事会	副会長
7月26日	東京都	第1回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
8月7日	三重県	中部地域協議会第1回会長・理事長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第1回全体会議	会長、副会長、専務理事
10月8日	東京都	第46回理事会	副会長
10月25日	東京都	全国正会員事業研修	担当者
11月15日	兵庫県	第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会	副会長、専務理事
12月12日	愛知県	中部地域協議会第2回専務理事会	専務理事

令和2年 1月16日	東京都	第47回理事会	副会長
		新年賀詞交歓会	会長、副会長、専務理事
1月31日	東京都	第2回全国正会員事務局責任者会議	専務理事
2月5日	東京都	第1回法制度対策委員会	副会長
2月13日	岐阜県	中部地域協議会第2回会長・理事長会議	会長、専務理事
		中部地域協議会第2回全体会議	会長、副会長、専務理事
2月21日	福島県	全国正会員会長・理事長会議	会長、副会長
3月10日	東京都	第48回理事会	副会長

(2) 産業廃棄物処理業許可指導・相談事業

産業廃棄物処理業許可手続をはじめ、適正処理やリサイクル等に係わる指導、相談を協会本部で電話等により随時対応した。

(3) 講習会事業

①環境管理講座

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 9月11日	静岡市	・有害化学物質と廃棄物情勢に関する最新情報 ・静岡県の海洋プラスチックごみ対策	120名

②産業廃棄物処理実務者研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 7月12日	静岡市	「産業廃棄物処理実務者研修会－基礎コース－」 ・産業廃棄物の基礎 ・産業廃棄物の委託処理と委託契約 ・産業廃棄物管理票、帳簿	134名

③電子マニフェストシステム実務研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 8月27日 29日 9月13日 10月1日 令和2年 2月19日	静岡市 浜松市 三島市 三島市 静岡市	「電子マニフェスト操作体験セミナー」 ・電子マニフェストシステムの操作体験 ※各会場とも午後1回開催 ※8月開催分は各会場とも午前、午後 各1回開催	計113名

④産業廃棄物処理業者優良認定推進事業【県委託事業】

i) 優良産廃処理業者認定準備研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 11月6日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・産廃優良認定制度の基礎知識と法令遵守に係る取組 [実務研修] ・優良産廃処理業者の取組事例 ① (株)コーシンサービス ② (株)駿河サービス工業 ・優良認定申請手続きについて 	21名

ii) 産業廃棄物処理業者向け情報公表実践研修会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 9月27日 10月18日 10月30日	静岡市	産廃情報ネット「さんばいくん」を利用した情報公表のための入力作業を行い、優良廃棄物処理業者認定制度の認定基準のひとつ「事業の透明性」への適合を目指す研修会	11社

⑤安全衛生講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和2年 2月12日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟練労働者の安全衛生教育マニュアル～産業廃棄物処理業編～ ・基本的安全衛生活動と安全衛生ツールの活用 ・産業廃棄物処理業における労働災害防止計画 	計40名

⑥不当要求防止責任者講習会

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 12月12日	静岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力団情勢、暴力団対策法、県暴力団排除条例の概要 ・反社会的勢力への対応要領等 	94名

(4) 専門部会活動事業

①医療廃棄物部会

- i) 令和元年7月18日に幹事会を開催し、医療廃棄物合同懇談会及び部会事業等について協議した。
- ii) 令和元年9月13日に静岡市で、当協会、(一社)東京都産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業資源循環協会との医療廃棄物合同懇談会を開催し、医療廃棄物の適正処理について意見交換した。
- iii) 令和元年7月23日に静岡市で開催された「鳥インフルエンザ等発生時の防疫作業協力協定締結団体との研修・情報交換会(主催：静岡県)」に部会幹事が参加した。

- iv) 令和元年 10 月 8 日に静岡市で開催された「静岡県特定家畜伝染病防疫演習(主催：静岡県)」に部会員が参加した。
- v) 令和元年 9 月に豚コレラウイルスによる感染被害が隣接県にまで拡大した状況を踏まえ、「家畜伝染病発生時における家畜の死体等の輸送に関する協定」(締結日：平成 26 年 2 月 10 日)に基づく県からの緊急要請への備えとして、部会員を対象とした協力意向調査を実施した。
- vi) 令和 2 年 2 月 12 日に新型コロナウイルスに感染した患者が本県医療機関に搬送されたとの報道があったことを受けて、産業廃棄物処理業務における感染被害の拡大を防止するために、静岡県に対して感染性廃棄物の適正処理が確保されるよう医療機関への指導の徹底を文書で要請し、会員に感染防止対策の徹底を文書で呼びかけた。
- vii) 令和 2 年 3 月 11 日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会医療廃棄物運営委員会に部会長が出席した。

②建設廃棄物部会

- i) 令和元年年 12 月 4 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和 2 年 2 月 5 日に総会及び合同勉強会を開催し、部会事業等について協議した。
食品廃棄物部会との合同勉強会には、山梨県森林環境部環境整備課職員を招き、「山梨県北杜市における産業廃棄物不適正処理事案について」というテーマで講話を行い、部会員 31 名が参加した。
- iii) 令和元年 5 月 28 日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会建設廃棄物部会運営委員会に部会長が出席した。
- iv) 令和 2 年 3 月 13 日の部会視察会 (※コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止)

③食品廃棄物部会

- i) 令和元年 12 月 19 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和 2 年 2 月 5 日に総会及び合同勉強会を開催し、部会事業等について協議した。
建設廃棄物部会との合同勉強会には、山梨県森林環境部環境整備課職員を招き、「山梨県北杜市における産業廃棄物不適正処理事案について」というテーマで講話を行い、部会員 31 名が参加した。
- iii) 令和 2 年 3 月 10 日の部会視察会 (※コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止)

④中間処理部会

- i) 令和元年 7 月 18 日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和元年 7 月 18 日に部会幹事と静岡県行政書士会環境委員会との意見交換会を開催した。
- iii) 令和 2 年 3 月 3 日の総会及び勉強会 (※コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止)

⑤青年部会

- i) 平成31年4月15日、令和元年5月21日、6月11日、8月6日、9月24日、10月29日、令和2年1月7日、2月7日に幹事会を開催し、部会事業等について協議した。
- ii) 令和元年5月21日に総会及び勉強会を開催し、平成30年度事業等の報告をした。勉強会は、第1部では静岡障害者職業センターから講師を招き「障害者雇用制度」について、第2部では、はごろもフーズ(株)西林氏より「SDGs と会社経営 ～バックキャストで考える SDGs～」についての講話を会員28名が受講した。
- iii) 令和元年9月5～6日の視察研修会には、部会員等14名が参加して、(株)スパット北上を見学した。

(5) 協会機関誌「しずおかの産廃」発行等事業

- ① 協会機関誌「しずおかの産廃」を年4回発行し、協会本部や各支部の活動状況、行政機関から寄せられた情報等に関する各種情報を提供した。
- ② 「産廃技術ニュース」を年4回発行し、産業廃棄物の処理技術、処理施設に関する各種情報を提供した。

(6) 人材確保育成事業

- ① 令和元年11月19日、11月29日、12月6日、12月12日に県内4校（富士宮、静岡聴覚、袋井及び浜松視覚）の特別支援学校の生徒を対象に環境出前講座を行ない、その様子がテレビ放映や新聞掲載で報道された。(主体 青年部会)

4 産業廃棄物管理票(マニフェスト)頒布事業

産業廃棄物処理における適正な管理を推進するため、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を頒布した。

【令和元年度実績】

種 類	頒 布 枚 数 (枚)
産業廃棄物管理票	214,300
建設マニフェスト	95,500
合 計	309,800

5 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可等講習会事業

- ① (公社)全国産業資源循環連合会及び(公財)日本産業廃棄物処理振興センターと協力し、産業廃棄物処理業の新規許可申請者、更新許可申請者、特別管理産業廃棄物管理責任者を対象に講習会を計 12 回開催し、計 1,626 名の参加があった。

【受講状況】

種 類	開催回数(枚)	参加者(名)
産業廃棄物収集運搬課程【新規】	3	419
〃 【更新】	4	572
産業廃棄物処分課程【更新】	1	81
特別管理産業廃棄物管理責任者	4	554
計	12	1,626

- ② 令和2年2月10日に東京都で開催された「2020年度許可講習会における事務取扱説明会(主催:(公財)日本産業廃棄物処理振興センター・(公社)全国産業資源循環連合会)」に事務局が出席し、情報交換等を行った。

II 会員相互の扶助事業

1 支部運営事業

各支部(伊豆、東部、富士、中部、志太榛原、中遠、西部)では、支部の運営、適正処理、広報の3委員会のもと、支部独自または本部との連携により、各種事業を実施した。

(1) 支部総会及び支部委員会の開催

支部総会……………各支部6月に開催

支部委員会……………随時

(2) 「支部だより」の発行

伊豆、東部、富士、中部、志太榛原の各支部で発行

(3) 勉強会等の実施

支部名	開催日	内 容	参加者(名)	備考
伊豆	令和元年 6月18日	スポーツジャーナリスト 法政大学講師 佐塚元章氏による講演 「放送という仕事とは」	17	
東部	令和2年 3月5日	「勉強会」 ・無害化処理認定施設等の処理対象となるポリ塩化ビフェニル廃棄物の拡大に係る関係法令等の改正について ※コロナウイルス感染拡大防止のため 開催中止		
富士	3月19日	「合同勉強会」 ・快眠で、日本の社会を元気に！ ※コロナウイルス感染拡大防止のため 開催中止		(一社)富士環境保全協会と共催
中部	3月19日	「勉強会」 ・よくある行政指導事例 ※コロナウイルス感染拡大防止のため 開催中止		
志太榛原	令和元年 6月14日	「講演会」 ・昆虫食が世界を救う!! ”とって食べる”からはじまる環境教育	45	
中遠・西部	令和2年 2月6日	「産業廃棄物適正処理に係る説明会」 ・PCB廃棄物処理についてのお願い ・特別講演「廃プラスチック類は本当に世の中に溢れるのか？」 ・浜松市からお知らせ	650	
計			712	

(4) 優良施設視察研修会の実施

支部名	開催日	見 学 先	参加者(名)
伊豆	令和元年 11月13日 ～14日	・SPEC(株)エコレ城南島(東京都) ・JAXA調布航空宇宙センター(東京都)	9
東部	11月21日	・昭和電工(株)川崎事業所(神奈川県) ・東芝未来科学館(神奈川県)	22
富士	10月24日 ～25日	・(株)太洋サービス(浜松市) ・(株)MARUKO 富士見リサイクルセンター(愛知県) ・(有)ゼンユー半田事業所(愛知県)	13
中部	10月24日 ～25日	・三友プラントサービス(株)千葉工場(千葉県) ・トヨタL&Fカスタマーズセンター東京(千葉県)	18
志太榛原	9月27日	[第1回] ・(株)アサギリ(富士宮市) ・山梨県立リニア見学センター(山梨県)	17
	令和2年 2月14日	[第2回] ・西日本豪雨災害廃棄物処理施設(岡山県)	6
中遠・西部	令和2年 1月24日	・(株)ダイカン(大阪府) ・日本リサイクルセンター(株)中島事業所(大阪府)	16
計			101

(5) その他各支部が計画を定め実施する事業

東部支部では、会員企業が持ち寄ったリサイクル品等のバザーの売上収益金の提供を受け、「愛の都市訪問」に寄付した。

2 意識啓発向上事業

(1) 視察等事業

本部による県外優良施設の視察研修は、令和元年7月26日に「メンテナンス・レジリエンスTOKYO2019」を対象に会員61名の参加により実施し、廃棄物処理・リサイクル技術や生産性向上に係る技術等の情報収集に努めた。

(2) 暴力追放推進事業

- ① 令和元年6月11日の定時総会開催後に「(公社)静岡県産業廃棄物協会暴力追放推進協議会第20回大会」を開催し、暴力追放宣言の斉唱などを行った。
- ② 令和元年11月26日に富士宮市内で開催された「第37回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」に富士支部役員及び本部役員等9名が参加した。

(3) 労働安全衛生事業

- ① 平成29年度から運用した第1次労働災害防止計画(3か年計画)の取り組みを維持向上させるため、第2次労働災害防止計画の策定を進めた。

- ② 産業廃棄物処理の現場で多発する“はさまれ巻き込まれ事故”や“墜落・落下事故などを防止するため、労働災害防止ステッカーを作成した。

(4) 表彰

①産業廃棄物適正処理推進功労者知事褒賞

令和元年6月11日の定時総会に先立ち平成30年度知事褒賞授与式が行われ、会員1名が受賞した。

【受賞者】(敬称略)

・松田 信夫

②(公社)静岡県産業廃棄物協会会長表彰

令和元年6月11日の定時総会に先立ち平成30年度会長表彰が行われ、功労者表彰4名、優良従事者表彰6名、優良事業所表彰1社が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表彰名	被表彰者
功労者表彰	市栄産業(株) 市川 智也
	(株)静岡西部建設 梅原 義隆
	アサヒプリテック(株)静岡営業所 松岡 春人
	都商事(株) 宮原 一成
優良従事者表彰	マーセリサイクル(株) 池田 善久
	マーセリサイクル(株) 坂本 政則
	マーセリサイクル(株) 内山 寸麻子
	三重中央開発(株) 薬師神 秀夫
	(株)ミダック 丸山 順也
	スズキ(株) 吉田 直樹
優良事業所表彰	神座興産(株)

③(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰

令和元年6月13日に開催された(公社)全国産業資源循環連合会の定時総会での表彰式において、当協会会員の中から、功労者表彰1名、地方功労者表彰1名、地方優良事業所表彰2社、優良従事者表彰2名が受賞した。

【受賞者】

(敬称略)

表 彰 名	被 表 彰 者
功労者表彰	東海建設(株) 土屋 順一
地方功労者表彰	(公社)静岡県産業廃棄物協会 稲葉 育美
地方優良事業所表彰	東名興産(株)
	(株)静岡環境保全センター
優良従事者表彰	丸徳商事(有) 内藤 勝弘
	セキトランスシステム(株) 鈴木 謙次

(5) 人材確保育成事業

①新任担当者向けの「産業廃棄物処理基礎講座」

開催日	開催場所	内 容	受講者
令和元年 9月20日	静岡市	第1部「産業廃棄物処理の基礎知識」 第2部「廃棄物処理業務実務のポイント」 ・委託契約書とマニフェストの運用 ・排出現場での適正な分別と社内教育 ・廃棄物処理業務に係る事故防止対策 特別講話「産業廃棄物処理業務の心得」	計49名

Ⅲ 管理運営

1 定時総会・理事会等の開催

(1) 定時総会

令和元年 6 月 11 日にグランディエールブuketーカイで令和元年度定時総会が開催され、議案 2 件が原案どおり決議(承認)された。

また、報告 1 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び平成 30 年度収支決算書 承認の件

第 2 号議案 役員の補充選任の件

【報告事項】

(1) 平成 31 年度事業計画書及び平成 31 年度収支予算書

【出席等】

議決権のある当法人の会員総数 994 名

決議に必要な会員数 994 名

出席会員数 660 名

(議決権行使書面によるもの 537 名含む)

(2) 理事会

① 平成 31 年 4 月 24 日に中島屋グランドホテルで第 1 回理事会が開催され、議案 2 件が原案どおり決議(承認)され、そのうち 2 件が令和元年 6 月 11 日開催の定時総会に付議された。

また、報告 1 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び平成 30 年度収支決算書 承認の件

第 2 号議案 役員の補充選任の件

【報告事項】

(1) 平成 30 年度下半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数 27 名

決議に必要な理事の数 14 名

出席理事数 21 名

出席監事数 2 名

② 令和元年 10 月 17 日に中島屋グランドホテルで第 2 回理事会が開催され、議案 3 件が原案どおり決議(承認)された。

また、報告 3 件が行われた。

【決議事項】

第 1 号議案 表彰規程の一部改正の件

第 2 号議案 就業規程の一部改正の件

第 3 号議案 新規会員の入会 承認の件

【報告事項】

- ・台風 19 号への対応
- (1) 特別支援学校環境出前講座実施計画
- (2) 令和元年度上半期事業の実施状況

【出席等】

理事総数	27 名
決議に必要な理事の数	14 名
出席理事数	18 名
出席監事数	1 名

- ③ 令和 2 年 3 月 17 日に中島屋グランドホテルで第 3 回理事会が開催され、議案 7 件が原案どおり決議(承認)された。また、報告 3 件が行われた。

【決議事項】

- 第 1 号議案 令和 2 年度事業計画書及び令和 2 年度収支予算書の件
- 第 2 号議案 令和 2 年度定時総会の開催の件
- 第 3 号議案 理事会による理事候補者の推薦の件
- 第 4 号議案 旅費規程の一部改正の件
- 第 5 号議案 役員の退任に伴う慰労金に関する規約の廃止の件
- 第 6 号議案 新規会員の入会 承認の件
- 第 7 号議案 令和元年度会長表彰の件

【報告事項】

- (1) 次期（令和 2～3 年度）役員候補者の選定状況
- (2) 令和 2 年度「全産連」会長表彰に係る被表彰者の推薦
- (3) 新型コロナウイルスに係る医療廃棄物への対応

【出席等】

理事総数	27 名
決議に必要な理事の数	14 名
出席理事数	18 名
出席監事数	2 名

(3) 運営委員会

平成31年4月12日、令和元年9月30日、令和2年3月6日に運営委員会が開催され、総会及び理事会へ付議する議案等についての協議が行われた。

(4) 適正処理委員会

令和2年3月12日の適正処理委員会（※コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止）

(5) 広報委員会

①会議

令和元年5月22日、9月10日、12月10日に広報委員会が開催された。機関誌等の発行をはじめ、ぼくらはさんばい探偵団や産業廃棄物処理施設等視察会の実施計画、人材確保育成事業等についての協議が行われた。

令和2年3月13日（※コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止）

②主な広報PR

i) 令和元年10月4日の富士支部が富士宮市山宮で実施した不法投棄廃棄物撤去作業がテレビ放映された。

ii) 東部支部の令和2年2月9日開催の「2020ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」でのバザー収益金(180,220円)の「愛の都市訪問」への寄託が新聞に掲載された。

(6) 安全衛生委員会

令和元年9月25日、令和2年1月28日に安全衛生委員会を開催し、労働災害防止計画の策定等について協議した。

(7) 災害対策委員会

平成31年4月19日、令和元年11月7日、令和2年2月27日に災害対策委員会及び県との意見交換会を開催し、災害廃棄物処理等に関する協定の運用や情報伝達訓練の実施等について協議した。

県との意見交換会では、台風19号被害における災害廃棄物の処理の連携の課題や改善策などについて協議した。

2 新規会員の入会促進と会員管理システムの運用

(1) 新規会員の入会促進

会員以外も参加する講習会等において、入会案内の配布等により新規会員の入会促進に努め3件の入会があった。

その一方で22件の退会等があったため、令和元年度末の会員総数は1,030会員となった。

【令和元年度会員数の推移】

区 分		令和元年 4月1日	入 会	退 会	令和2年 3月31日	
正 会 員	処 理 業 者	収集運搬	331	2	9 (0)	324
		中間処分	306	0	4	302
		最終処分	28	0	1	27
	小 計		665	2	14 (0)	653
	排出事業者	排出事業者	311	0	7	304
		団 体	25	0	0	25
	小 計		336	0	7	329
計		1,001	2	21 (0)	982	
賛助会員		48	1	1 (0)	48	
合 計		1,049	3	22 (0)	1,030	

※退会等の主な理由

- ・処理業者では、業の廃止、業務の縮小、会費が1年以上未納等
- ・排出事業者と賛助会員では、事務所等の閉鎖、経費の削減等

※退会の欄の（ ）の数字は、内数で、会費の1年以上未納等による会員資格の喪失

(2) 会員管理システムの運用

会員管理システムを適切に運用し、会員の処理業許可更新時期のお知らせや情報配信等に役立てた。

附属明細書

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。